

**製品名: LILRB2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82086**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	65kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LILRB2
別名	ILT4; LIR2; CD85D; ILT-4; LIR-2; MIR10; MIR-10
遺伝子 ID	10288.0
SwissProt ID	Q8N423
免疫原	大腸菌で発現したヒト LILRB2 (AA: 51-184) の精製された組み換え断片。

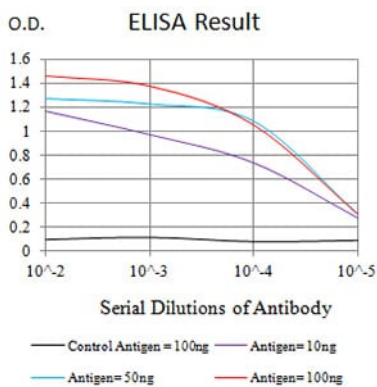
**背景**

この遺伝子は、白血球免疫グロブリン様受容体 (LIR) ファミリーのメンバーであり、染色体領域 19q13.4 の遺伝子クラスターに存在します。コードされるタンパク質は、2つまたは4つの細胞外免疫グロブリンドメイン、1つの膜貫通ドメイン、および2つまたは4

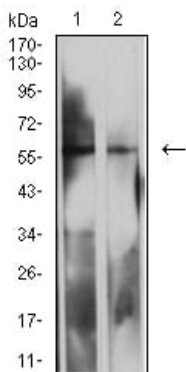
この細胞質免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) を含む LIR 受容体のサブファミリー B クラスに属します。この受容体は免疫細胞上に発現し、抗原提示細胞上の MHC クラス I 分子に結合して、免疫応答の刺激を抑制する負のシグナルを伝達します。炎症反応と細胞傷害性を制御し、免疫応答を集中させ、自己反応性を抑制すると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

## 研究分野

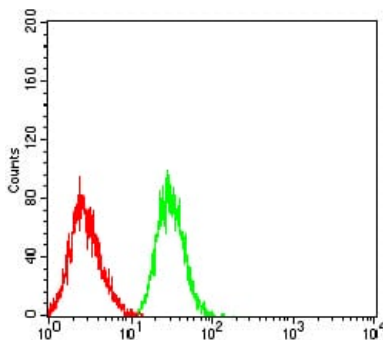
## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



MOLT4 (1) および K562 (2) 細胞溶解物に対する LILRB2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



LILRB2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。